

美濃加茂農場の将来構想について

加藤 隆司

岐阜大学 応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター

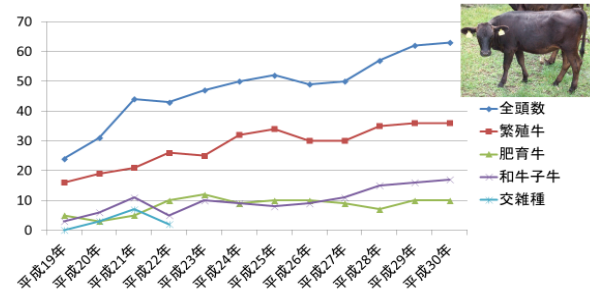
岐阜大学応用生物科学部附属美濃加茂農場は1931年の高等農林学校時代に、牛や馬を飼育し畜力による大型農耕特殊農場として設置された。当時は学生10名ほどで場内で生活し農業の体験学習していた。しかし近代農業の導入によって、畜力から機械化農業へと進んでいった。1963年には学科の再編とともに和牛生産に特化した農場へと切り替えていき、2004年には、法人化に伴い現在の組織となった。2015年10月、農業の担い手不足に歯止めをかけるため、就農研修施設として岐阜県とJAと岐阜大学との間で協議が始まりました。2018年現在、和牛繁殖農家への就農研修施設として地域に貢献できるよう連携協議を重ねている。

Key Words： 和牛繁殖農家, 就農研修

1. はじめに

岐阜県美濃加茂市にある岐阜大学応用生物科学部附属美濃加茂農場では、和牛での一貫経営を行いながら牧場実習など教育研究にかかわってきた。岐阜県内の飛騨牛生産販売が増量する一方、和牛繁殖農家の減少など子牛の頭数確保に近年の問題であった。この問題の解決案として、岐阜県が提案した農家の担い手事業に関する事業に大学として連携・貢献できないか取り組みが始まった。

飼養頭数の変化（各年2月1日の実頭数）



現在、**子牛の増産**（繁殖を強化）

図-1 飼養頭数の変化

2. 現在の飼育状況

黒毛和牛を飼育しており、繁殖用成牛雌牛（生後10ヶ月以上）が36頭、和牛子牛（生後10ヶ月未満）が17頭、肥育牛（生後10ヶ月以上）を10頭、飼養管理している。飼養頭数の変化は次のグラフのように増頭が続いている。

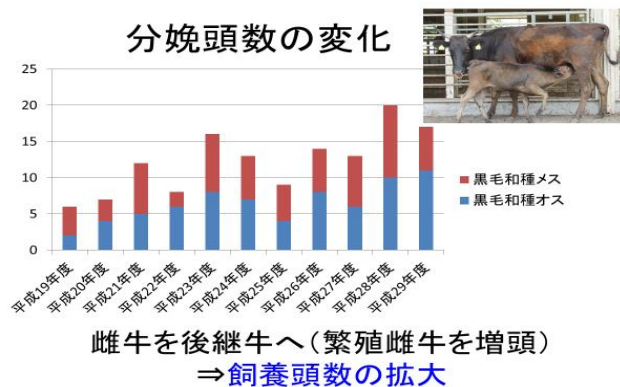


図-2 分娩頭数の変化

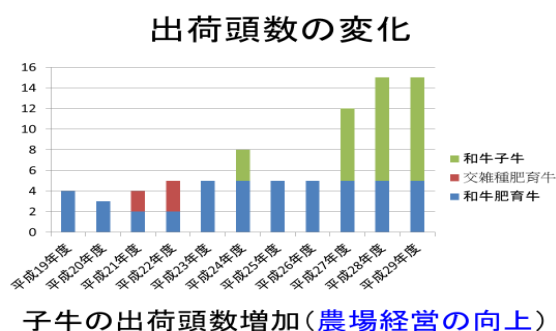


図-3 出荷頭数の変化

また、分娩頭数や出荷頭数も年々増やしてきた。出荷頭数については、この10年余り肥育牛年5頭の出荷を目標としてきた。平成27年から育成子牛の出荷を始め、収入の増加を見込んだ。

市場価格は高値での安定が続き、見込以上の収入があったが、平成30年に入ってから徐々に下降の傾向が見られる。

また、飼養頭数を増頭するとともに職員数の確保を期待したが現状では困難な状況である。

美濃加茂農場の職員数

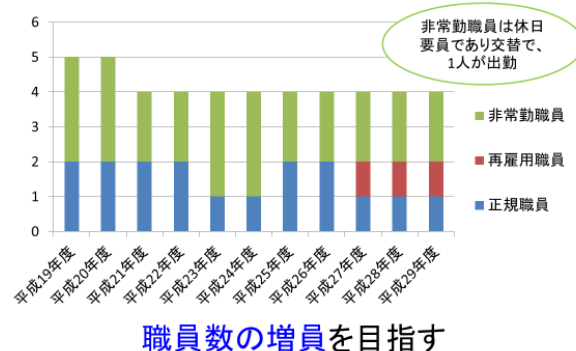


図-4 美濃加茂農場職員数の変化

3. 現在の利用状況

美濃加茂農場には宿泊施設があり、授業のない期間を利用して、牧場実習を執り行っている。

10ha 程の敷地の中に6ha 程の飼料用の圃場と 3 ha 程の野草地や放牧地を有する。大型機械を使った操作の実習や、飼育している黒毛和種を用いて管理実習や実験を行っている。農場関係教員の取り組みのおかげで、現在では応用生物科学部の全学生が卒業までに一度は利用する施設となっている。

最近では、近隣にできた可茂特別支援学校の実習や他大学のゼミや研修の場として利用される。

美濃加茂農場での実習

- 牧場実習 生産環境科学課程 応用動物科学コース
- 牧場実習 共同獣医学科
- 牧場実習 生産環境科学課程 応用植物科学コース
- 牧場実習 応用生命科学課程
- 牧場実習 生産環境科学課程



利用数の向上、教育研究への貢献

図-5 実習

美濃加茂農場での利用

- ・ タケノコ掘りと牧場見学
- ・ 岐阜大学新人職員研修
- ・ 可茂特別支援学校
- ・刈払い機作業者安全衛生教育
- ・ ゼミ研究会
- ・ 家畜人工授精師協会での研修

地域との連携、貢献を目指す

図-6 農場利用

4. 畜産の現状と課題

近年の畜産業界でも高齢化が進み後継者不足が深刻化してきている。特に和牛繁殖農家の担い手が少なく子牛市場での出荷頭数の減少が目立ち始めたところである。しかしながら家畜を飼育する中で飼養管理や防疫体制の強化など、即戦力として活躍するには知識や実技が必要である。

岐阜県の取り組みとして様々な農業の就農研修施設の増設を考えているという新聞記事から、地域貢献できる機会だということで協議に参加する運びとなり、今後の取り組みとしていくつかの部会と協議会を設けて動き始めた。

5. まとめ

岐阜大学の附属農場として教育研究環境の整備を進め担い手事業の教育の場を提供する。

また地域連携できる特徴ある農場づくりを進め、地域貢献に努める。

農場経営、生産性も学べる教育体制づくり、実践的教育研修を行う。

6. 謝辞

本報告を作成するにあたり、ご指導、ご助言をいただきました岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科大場恵典教授およびフィールドセンター職員一同に厚く御礼申し上げます。

岐阜大学美濃加茂農場 飛騨牛繁殖研修事業に係る協議会の設置について

- JA全農岐阜、岐阜県と岐阜大学間で協議会を設置
- 協議会を通じ、施設整備や管理方法、運営等に関する具体的な議論を展開

JA全農岐阜、岐阜県と岐阜大学との飛騨牛繁殖研修事業に係る連携協議会

- 概要
- ・ 繁殖研修事業全般について協議
 - ・ 下部組織として施設整備及び連携事業に関する専門部会を設置

施設整備に関する専門部会

- 概要
- 主に施設に関する事項について審議する部会
- ・ 建物の整備、施設利用・管理
 - ・ 土地及び建物使用 等

連携事業に関する専門部会

- 概要
- 主にJA全農岐阜、岐阜県と岐阜大学との連携事業について審議する部会
- ・ 繁殖事業に関する連携
 - ・ 研修事業に関する連携 等

2

図-7 組織の概要